

# 地球規模の変化に対応したレジリエントな水産業

—水産業を評価するための基準を考え直す—

令和7年3月14日（金） 13：00～17：00

オンライン開催【参加費無料】

申込サイト <https://forms.gle/RPQSn7HMugpvHcUX7>

参加登録は  
QRコード  
またはURLか  
ら(3/10まで)



参加登録用QRコード

13:00～ 開会挨拶

大越 和加（日本学術会議第二部会員/東北大学大学院農学研究科教授）

13:05～ 趣旨説明

八木 信行（日本学術会議連携会員/東京大学大学院農学生命科学研究科教授）

## セッション1 「サステナビリティをめぐる世界の潮流」

座長 吉崎 悟朗（東京海洋大学学術研究院海洋生物資源学部門教授）

13:10～

自然の恵みを未来へ:IPBESアセスメントが伝える持続可能な社会への鍵

橋本 禪（日本学術会議連携会員/東京大学大学院農学生命科学研究科教授）

13:50～

人間が自然に感じる価値、特に関係価値(Relational Value)に関する国際的な議論

石原 広恵（東京大学大学院新領域創成科学研究科准教授）

## セッション2 「日本における新課題」

座長 米崎 史郎（水産研究・教育機構水産資源研究所水産資源研究センター社会・生態系システム部副部長）

14:30～

近年における水産資源の状態

市野川 桃子（水産研究・教育機構水産資源研究所水産資源研究センター

漁業情報解析部資源解析グループグループ長）

15:10～15:20 休憩時間

15:20～

社会の変化と将来の水産業:TNFD(自然関連財務情報開示タスクフォース)  
の提言がもたらす影響

岡添 巨一（株式会社農林中金総合研究所リサーチ&ソリューション第2部

サステナブルグループ主任研究員）

16:00～

## 総合討論「新しい研究ニーズにどう対応すればよいのか」

司会 八木 信行（日本学術会議連携会員/東京大学大学院農学生命科学研究科教授）

パネリスト 東海 正（日本学術会議連携会員/東京海洋大学名誉教授）

中山 一郎（水産研究・教育機構理事長）

大越 和加（日本学術会議会員/東北大学大学院農学研究科教授）

高瀬 美和子（大日本水産会専務理事）

丹下 菜穂子（鳥取県栽培漁業センター所長）

16:55～ 閉会の挨拶

古谷 研（日本学術会議連携会員/創価大学特別教授）

主催：日本学術会議食料科学委員会・同水産学分科会

共催：水産・海洋科学研究連絡協議会、日本農学アカデミー、日本水産学会

後援：大日本水産会、全国漁業協同組合連合会、水産海洋学会、日本付着生物学会、日本魚病学会、国際漁業学会、日本ベントス学会、日本魚類学会、地域漁業学会、日仏海洋学会、日本海洋学会、日本水産増殖学会、マリンバイオテクノロジー学会、日本水産工学会、日本プランクトン学会、漁業経済学会、日本藻類学会、日本海洋政策学会

お問い合わせ先  
脇田和美 wakita[a]tokai.ac.jp  
※ [a]を@にしてください。

